

## (6) 報道関係対応一覧

取材日	取材元	誌名・番組名	内容	掲載・放送	当館担当者
H18. 4.16	朝日新聞	朝日新聞(愛知県東部版)	豊川河口のイソギンチャク	H18.4.17掲載	柳 研介
H18. 6.23	月刊マリンダイビング	月刊マリンダイビング	イソギンチャク類のコメント	H18.8月号掲載	柳 研介
H18. 6.15	TBS	クイズ日本語王	海藻カモガシラノリについて		菊地則雄
H18. 7. 5	千葉日報	千葉日報	海水浴で注意すべき危険な生物		柳 研介
H18. 7.11	朝日新聞千葉総局	朝日新聞	観察会情報	H18.7.14掲載	川瀬裕司
H18. 7.21	朝日ニュースター	キッズニュース	収蔵資料展「大きい貝・小さい貝」	H18.8.19放送	立川浩之
H18. 7.15	産経新聞	産経新聞	収蔵資料展「大きい貝・小さい貝」		立川浩之
H18. 7.26	NHK千葉放送局	F Mひるどき情報ちば	収蔵資料展「大きい貝・小さい貝」	H18.7.26放送	立川浩之
H18. 9.27	ベイFM	フロントストーン	コラボミュージアム「イルカの集団座礁を科学する」	H18.10.8放送	川瀬裕司
H18.11.28	NHK千葉放送局	ニュース(全国)	柏市の川へのサケの遡上	H18.11.28放送	乃一哲久
H18.11.29	TBS	イブニングファイブ	柏市の川へのサケの遡上	H18.11.29放送	乃一哲久
H18.11.29	毎日新聞柏支局	毎日新聞	柏市の川へのサケの遡上	H18.11.30掲載	乃一哲久
H18.11.28	フジテレビ		柏市の川へのサケの遡上		乃一哲久
H18.12.27	SBSラジオ	ほのほのワイド	イソギンチャクについて	H18.12.27放送	柳 研介
H19. 1.12	NHK千葉放送局	F Mひるどき情報ちば	マリンサイエンスギャラリーについて	H19.1.12放送	菊地則雄
H19. 1.11	千葉テレビ	ニュースCマスター	マリンサイエンスギャラリーについて	H19.1.16放送	菊地則雄
H19. 1.19	朝日ニュースター	キッズニュース	マリンサイエンスギャラリーについて	H19.2.18放送	菊地則雄
H19. 2.23	海苔プレス	海苔プレス	アサクサノリの養殖について	H19.4以降掲載	菊地則雄
H19. 3.17	東映テレビプロダクション	土曜ワイド劇場 法律事務所2	ドラマで使用するための海藻写真貸出	未定	菊地則雄

## (7) その他の海の博物館関連記事

取材日	出版元	誌名	内容	掲載日・号	当館担当者
H18. 4. 2	生活情報センター	またたび房総	博物館の基本情報	H18年 4月	川瀬裕司
H18. 5.27	(株)角川クロスメディア	千葉ウォーカー	博物館の基本情報	H18年 6月6日	川瀬裕司
H18. 6.28	(株)アートサプライ	マナビゲート	博物館の基本情報	H18年7月	川瀬裕司
H18. 7.24	(株)エムビーシー	ダイビングワールド	収蔵資料展に関する情報	H18年9月号	川瀬裕司
H18. 8. 1	かずさ広告企画(株)	フォルザ	博物館の基本情報	H18年9月号	川瀬裕司
H18. 8. 3	鴨川市	広報かもがわ	行事案内	H18年8月15日号	川瀬裕司
H18. 9. 7	昭文社	マップルマガジン千葉・房総07	博物館の基本情報	H18年10月	川瀬裕司
H18. 9.28	メイツ出版(株)	子どもとでかける千葉あそび場ガイド2007年版	博物館の基本情報	H18年12月	川瀬裕司
H18.10. 6	成美堂出版	関東周辺大満足家族旅行'07-'08	博物館の基本情報	H19年 3月	川瀬裕司
H18.10.24	(株)JTBパブリッシング	るるぶ千葉房総'07	博物館の基本情報	H18年11月	川瀬裕司
H18.11. 1	(株)ぴあ	テーマパーク&レジャーランドスーパーカタログ2007	博物館の基本情報	H19年 1月	川瀬裕司
H18.11.24	NPO法人千葉自然学校	房総の自然・農林漁業体験情報誌チバッチ	行事案内	H19年 1月	川瀬裕司
H19. 1.10	東京湾フェリー(株)	南房総・三浦 平成19年度版	博物館の基本情報	H19年 3月	川瀬裕司
H19. 1.17	(株)エム・ケイ・エフ	明治健康ファミリー	展示室紹介	H19年 3月	川瀬裕司
H19. 2. 1	(株)旅行出版社	全国版宿泊表	博物館の基本情報	H19年 7月	川瀬裕司
H19. 2. 6	日本経済新聞社	日経サイエンス	行事案内	H19年 4月号	川瀬裕司

## (8) 電子情報対応

取材日	取材元	誌名・番組名	内容	掲載・放送	当館担当者
H18. 6. 6	環境省自然環境局	自然大好きクラブ	施設の概要と周辺の自然・行事案内	H18.8.1~	川瀬裕司
H18. 7. 3	ワイズ・ファクトリー	HONDAインターナビ	施設の概要と周辺の自然	H18.8.1~	川瀬裕司
H18.10.25	明光企画	旅家	施設の概要と周辺の自然	H18.12~	川瀬裕司

### 3. 資料収集活動

海の博物館では、千葉県周辺海域を中心に、海の自然誌に関する資料を収集しています。それらの資料は、県民共有の財産として保管、管理すると共に、展示や教育普及活動など、各種の博物館活動に活用しています。

#### (1) 職員による資料収集

海の博物館では、県内各地において、海の自然誌に関する資料の収集を行っています。また、千葉県産資料との比較のために、県外地域において同様の資料収集を行っています。

本年度は、県内では勝浦市、鴨川市、館山市などにおいて、種々の海洋動植物を収集しました。また、2002年に南房総市(旧白浜町)に漂着し、海岸に埋設されていたマッコウクジラの下顎骨の回収も行いました。

県外での資料収集は、平成16年度から継続的に南三陸町自然環境活用センターの協力のもと、宮城県志津川湾沿岸において行っています。本年度は、4月16～20日に、菊地、奥野の2名の研究員が海藻類と甲殻類を収集しました。



南三陸町自然環境活用センター



南三陸町寺浜での採集

#### 収集資料紹介



志津川湾奥八幡川河口のソメワケアマノリ(左)とその標本(右)

#### ソメワケアマノリ

今年度の志津川湾の調査では多くの海藻が採集されましたが、中でも水産庁のレッドデータブックで絶滅危惧種とされているノリの一種ソメワケアマノリが確認されたことは大きな成果でした。ソメワケアマノリは、内湾などの河口付近に広がる干潟に生育することが知られていますが、志津川湾内奥の干潟にはまだ多くの個体が見られ、豊かな自然環境が残っていることがわかりました。



ヨモギホンヤドカリ(上)とホシゾラホンヤドカリ(下)

#### 志津川湾潮間帯のヤドカリ類

今年度の調査中、志津川湾の潮間帯で計6種のヤドカリ類を採集しました。その内訳はヤドカリ科のケブカヒメヨコバサミ、ホンヤドカリ科のホンヤドカリ、ケアシホンヤドカリ、ホシゾラホンヤドカリ、ユビナガホンヤドカリ、ヨモギホンヤドカリです。ヨモギホンヤドカリは北海道から九州にかけて分布していますが、東北地方の太平洋岸では初めての記録となります。また、ホシゾラホンヤドカリはこれまでに房総半島以南に分布するとされていましたが、志津川湾にも多産していることがわかりました。

## (2) 提供資料の受け入れ

海の博物館の資料収集活動には、毎年、多くの方々が協力して下さっています。本年度も、地元勝浦の漁業者の方を中心に、19名の方々が38件75点の資料を提供して下さいました。資料の内訳は、魚類が33点、刺胞動物が18点、甲殻類が12点、頭足類が3点、海綿類が2点、藻類が2点、貝類が1点でした。これらの中には、職員による採集活動だけでは、とても入手ができない資料も含まれていました。

### 提供資料の紹介

六放カイメンの一種「コモチツボ」



繊細なガラス細工のようなコモチツボの標本

六放カイメンは深海にすむカイメンの仲間で、骨格がガラスと同じ珪酸質でできています。写真の標本は、勝浦市在住の江沢修さんから提供していただいたコモチツボという六放カイメンの仲間です。六放カイメンの骨格は壊れやすく、この標本のようにほぼ完全な形で採集されるのは珍しいと思われま

オオホモラ



オオホモラの大きなオス  
(一緒に写したタバコの箱と比較してください)

今年度は、勝浦市でキンメダイ漁を行っているきよ丸・田村喜一郎さん、晃弘さんと金功丸・石井洋太さんから、大型の深海性カニ類の一種であるオオホモラを頂きました。ホモラの仲間は最後の歩脚一対が他の脚に比べて小さく、それでカイメンなどをせおう習性をもっています。平成19年3月21日に捕獲されたオオホモラは、これまで頂いた中でも特に大きく、立派なハサミをもったオスでした。

## (3) 資料登録点数

平成18年度は、新たに4,882点の資料を登録しました。これによって開館以来の登録点数は、52,955点となりました(括弧内)。(平成19年3月31日現在)

資料名	本年度	(累計)	資料名	本年度	(累計)	資料名	本年度	(累計)
海綿動物	0	(257)	甲殻類	143	(2,155)	種子植物	0	(63)
刺胞動物	295	(4,597)	棘皮動物	31	(1,422)	写真資料	795	(11,549)
環形動物	10	(2,040)	その他の無	61	(300)	動画資料	83	(1,003)
貝類	1,495	(7,799)	魚類	1,734	(13,924)	図書資料	204	(1,681)
頭足類	0	(230)	藻類	31	(5,935)	合計	4,882	(52,955)

## (4) 資料の貸し出し

海の博物館では、保管している資料の貸し出しも行っています。本年度は、海外を含む16機関の18名の研究者に合計23件499点の資料を貸し出しました。主な貸し出し先は、国立科学博物館、高知大学理学部、北海道大学水産学部、大阪市立自然史博物館、東京海洋大学館山ステーション、オハイオ州立大学などで、貸し出した資料の内訳は、貝類標本が382点、魚類標本が79点、刺胞動物標本が34点、その他の無脊椎動物標本が4点でした。

## 乾燥収蔵庫の燻蒸



海の博物館の3階には、乾燥標本を保管する乾燥収蔵庫があります。乾燥標本とは、資料が十分に乾燥するまで水分を除去した標本をいい、具体的には、海藻類の押し葉や貝類の殻、剥製、などが相当します。これらの標本は、カビや害虫の被害を受けやすいため、乾燥収蔵庫は、常に温度や湿度が一定になるように管理されています。また、2年に1回、専門の業者に委託して部屋全体を殺虫・殺菌効果のあるガスで燻蒸する作業も行っています。



本年度は乾燥収蔵庫燻蒸の年で、10月14～20日の間に、この作業を行いました。作業は、まず部屋からガスが漏れないように内と外から目張りを行い、その後にガスを充填して十分な時間を置き、再びガスを回収するとともに目張りの除去を行うという大がかりなものです。作業には万全を期していますが、不測の事態に備え、収蔵庫内にガスがある間は館内への人の出入りを制限し、17～20日の間は臨時休館とさせて頂きました。

## 4. 調査研究活動

海の博物館では、海の生きものに関する調査研究活動を積極的に行っています。そして得られた成果を論文などの形で公表し、学術分野に貢献するとともに、展示、教育普及活動で活用することによって、一般の皆様にも還元しています。

### (1) 研究員による調査研究

海の博物館では、房総半島周辺海域の海洋生物相とその特徴を明らかにすることを目的に、各研究員が一体となって行う「総合分野」の研究と、各研究員の専門分野をより深く研究する「詳細分野」の研究の2つからなる調査研究活動を行っています。総合分野研究では魚類班、無脊椎動物班、藻類班の3班に分かれ、今年度は、特に千葉県北部の親潮影響域に重点を置いた調査研究を行いました。詳細分野研究は、各研究員が以下のようなテーマで行っています。

藍澤正宏「ハゼ科ミミズハゼ属魚類の分類学的研究」  
乃一哲久「沿岸域に出現する仔稚魚の形態と生態に関する研究」  
川瀬裕司「モンガラカワハギ上科魚類の繁殖行動とその進化に関する研究」  
立川浩之「日本産イシサンゴ類の分類・生物地理に関する研究」  
菊地則雄「原始紅藻亜綱植物の分類学的、生態学的研究」  
奥野淳兒「日本産共生性コエビ類の分類学的研究」  
柳 研介「イソギンチャク類の分類学的研究」  
村田明久「フジツボ類の繁殖生態」

### (2) 他機関等との研究交流、外部助成金等

海の博物館独自で行う調査研究の他に、他機関の施設を利用したり、専門の異なる他機関の研究者と共同で行う研究や、外部助成金を得て行う研究も積極的に推進しています。平成18年度は以下のような共同研究や外部助成金を得ての研究を行いました。

南三陸町自然環境活用センターとの共同調査  
研究課題: 志津川湾生物相調査, 海藻、無脊椎動物  
当館の研究分担者: 菊地則雄・奥野淳兒  
千葉大学海洋バイオシステム研究センター共同研究  
研究課題: 外房海域における非造礁性イシサンゴ類の分類学的研究  
当館の研究分担者: 立川浩之  
独立行政法人国立科学博物館プロジェクト研究  
研究課題: 相模灘調査  
当館の研究分担者: 立川浩之  
An International Adventure in Japan. Cnidarian Tree of Life Project.  
研究課題: Cnidarian Phylogenetics and Evolution  
当館の研究分担者: 柳 研介

千葉大学真菌医学センター共同利用研究  
研究課題: *Aspergillus* 及び関連菌の分子系統解析と形態学的研究との比較  
当館の研究分担者: 堀江義一  
独立行政法人水産総合研究センター 漁場環境・水産資源持続的利用型技術開発委託事業  
研究課題: 水産物の原産地判別手法等の技術開発事業  
当館の研究分担者: 菊地則雄  
日本学術振興会科学研究費(基盤研究C)  
研究課題: 性転換する魚類の社会構造と内分泌特性の進化に関する研究  
当館の研究分担者: 川瀬裕司

### (3) 研究成果公表一覧

#### 学術論文、学術書

##### 堀江義一

Yaguchi, T., Y. Horie, R. Tanaka, T. Matsuzawa, J. Ito and K. Nishimura. 2007. Molecular phylogenetics of multiple genes on *Aspergillus* section *Fumigati* isolated from clinical specimens in Japan. *Jpn. J. Med. Mycol.*, 48: 37-46.

Yaguchi, T., R. Tanaka, M. Matsuzawa and Y. Horie. 2007. Polyphasic classification on *Aspergillus* section *Fumigati*. *J. Microscopy Soc. Thailand*, 21(1): 58-61.

##### 藍澤正宏

立川浩之・黒住耐二・藍澤正宏. 2007. 和田隆治氏採集貝類標本目録. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号, 8: 1-55.

##### 乃一哲久

乃一哲久. 2006. 九州西岸の砂浜海岸におけるホシガレイ着底仔稚魚の出現と食性. *日本水産学会誌* 72(3): 366-373.

乃一哲久. 2007. 徳島県つるぎ町半田川の魚類相と流程分布. 徳島県立博物館研究報告, (17): (印刷中)

##### 川瀬裕司

Kawase, H. 2007. A list of reef fishes and their reproductive ecology in the coastal waters of the Sydney area based on underwater photographs and movies. *Nat. Hist. Res.*, 9 (2): 63-69.

##### 立川浩之

立川浩之. 2007. 海の生きもの観察ノート5に掲載された千葉県産後鰓類に関する補遺. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告, 9(2): 63-72.

立川浩之・黒住耐二・藍澤正宏. 2007. 和田隆治氏採集貝類標本目録. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号, 8: 1-55.

##### 菊地則雄

Fujiyoshi, E. and N. Kikuchi. 2006. Growth of excised pieces containing elongated denticles from the lower marginal parts of *Porphyra tanegashimensis* and *P. haitanensis* gametophytes. *Bull. Fish. Res. Agen.*, (16): 9-13

Kikuchi, N., J. A. West, M. Kajimura and J.-A. Shin. 2006. *Goniotrichopsis reniformis* (Kajimura) Kikuchi comb. nov. (Stylonematales, Rhodophyta) from Japan. *Algae*, 21(2): 185-191.

菊地則雄・二羽恭介. 2006. 東京湾多摩川河口干潟における絶滅危惧種アサクサノリ(紅藻)の生育状況とその形態. *藻類*, 54: 149-156.

菊地則雄・川名興・宮田昌彦・富塚朋子. 2007. 房総半島南部大房岬の海産植物相. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告, 9(2): 45-54.

島村嘉一・菊地則雄. 2007. 千葉県沿岸における絶滅危惧種カイガラアマノリ *Porphyra tenuipedalis* (紅藻ウシケノリ目)の生育地について. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告, 9(2): 55-61.

##### 奥野淳兒

Okuno, J. and Y. Fujita. 2007. Resurrection of the genus *Laomenes* A. H. Clark, 1919 (Decapoda, Caridea, Palaemonidae). *Crustaceana*, 80(1): 113-124.

Bruce, A. J. and J. Okuno. 2006. *Periclimenes dardanicola* n. sp., a new species of hermit crab associated shrimp (Crustacea, Decapoda, Palaemonidae) from the western Pacific Zoosystema, 28(2): 367-377.

Osawa, M. and J. Okuno. 2007. A new species of the genus *Pylopaguropsis* (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguridae) from the Ryukyu Islands, southwestern Japan, with notes on two poorly known pagurids. *Species Diversity*, 12(1): 29-40.

奥野淳兒・有馬啓人. 2006. 伊豆諸島・伊豆大島から新たに採集された浅海性ヤドカリ類(甲殻上綱, 十脚目, 異尾下目) 日本生物地理学会会報, 61: 29-43.

奥野淳兒・武田正倫・横田雅臣. 2006. 伊豆海洋公園産浅海性ヤドカリ類(甲殻上綱: 十脚目: 異尾下目). 国立科学博物館専報, (41): 145-171

##### 柳 研介

柳 研介. 2006. 相模灘のイソギンチャク相と本邦産のイソギンチャク分類の現状について. 国立科学博物館専報, (40):113-173.

## 第2回日本刺胞動物等研究談話会の開催



平成18年10月6日から9日の4日間、当館において「第2回日本刺胞動物等研究談話会」が開催されました。同談話会の扱う「刺胞動物」とは、クラゲやイソギンチャク、サンゴなどが含まれる動物群ですが、これらの研究者はそれぞれ異なる学会に所属していることが多く、一同に会する機会が少ないのが現状です。このため、平成17年に年一回の会合を開き研究者間の交流を図ることを目的に同会が設立されました。当館の立川・柳はこの回の発起人となっています。第2回目となる今回の会合には、沖縄から山形県までの全国各地から19名の刺胞動物研究者が集まり、13題の研究発表の他、各種活動を行いました。

柳 研介. 2007. 刺胞動物. In 国立科学博物館(編), 国立科学博物館叢書6, 相模湾動物史, pp. 178-185. 東海大学出版会, 東京.

## 教育普及業績

### 堀江義一

堀江義一. 2007. 博物館における資料保存について. マナビィ, No. 67: 13.

### 藍澤正宏

藍澤正宏. 2006. 死滅回遊魚. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」第20号.

### 乃一哲久

乃一哲久. 2006. 動物の交通事故. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」第21号.

### 川瀬裕司

川瀬裕司. 2006. 海博だよりーアミメハギの子育てー. 友の会ニュース(千葉県立中央博物館友の会), (58): 6.

川瀬裕司. 2006. 2種に分けられたササノハベラ. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」第22号.

### 立川浩之

立川浩之. 2006. 小さい貝を調べる. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」. 第14号.

立川浩之. 2006. 大きい貝 豆知識. 千葉県立中央博物館分館海の博物館 平成18年度収蔵資料展「大きい貝・小さい貝」展示解説シート1, 1p.

立川浩之. 2006. 小さい貝を集めてみよう. 千葉県立中央博物館分館海の博物館 平成18年度収蔵資料展「大きい貝・小さい貝」展示解説シート3, 1p.

高山順子・立川浩之. 2006. 太陽を食べる貝ーシャコガイ類. 千葉県立中央博物館分館海の博物館 平成18年度収蔵資料展「大きい貝・小さい貝」展示解説シート2, 1p.

### 菊地則雄

菊地則雄. 2006. 宮城県志津川湾での北方系生物資料収集. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」第14号.

菊地則雄. 2006. 東京湾のアサクサノリ. 友の会ニュース(千葉県立中央博物館友の会), (59): 6.

菊地則雄. 2006. 平成18年度マリンサイエンスギャラリー展示解説書アサクサノリの自然誌ー. 24 pp., 千葉県立中央博物館分館海の博物館.

菊地則雄. 2006. 平成18年度マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリの自然誌ー」子ども向け展示解説シート1 アサクサノリってどんな生きもの? 千葉県立中央博物館分館海の博物館.

菊地則雄. 2006. 平成18年度マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリの自然誌ー」子ども向け展示解説シート2 アサクサノリの生活. 千葉県立中央博物館分館海の博物館.

菊地則雄. 2006. 平成18年度マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリの自然誌ー」子ども向け展示解説シート3 絶滅のおそれのあるアサクサノリ. 千葉県立中央博物館分館海の博物館.

菊地則雄. 2006. 平成18年度マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリの自然誌ー」子ども向け展示解説シート4 乾海苔ができるまで. 千葉県立中央博物館分館海の博物館.

菊地則雄. 2006. 平成18年度マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリの自然誌ー」ワークシート1

ノリの名前を調べよう. 千葉県立中央博物館分館海の博物館. 菊地則雄. 2006. 平成18年度マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリの自然誌ー」ワークシート2

ノリの成長を調べよう. 千葉県立中央博物館分館海の博物館. 菊地則雄. 2007. アサクサノリの自然誌ー. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」第24号.

菊地則雄. 2007. 企画展示「アサクサノリの自然誌ー」. 藻類, 55: 44.

### 奥野淳兒

奥野淳兒. 2006. アカシマモエビその1. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」第16号.

奥野淳兒. 2006. アカシマモエビその2. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」第17号.

奥野淳兒. 2007. 転石めくりの極意. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」第25号.

### 柳 研介

柳 研介. 2006. 米国研究チームとの共同調査. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」. 第19号.

柳 研介. 2007. 海の生きもの観察ノート6「イソギンチャクを観察しよう」. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 32pp.

### 村田明久

村田明久. 2006. フジツボの子供. 海の博物館メールマガジン「海からのたより」. 第18号.

## 学会発表

### 堀江義一

矢口貴志・堀江義一・松澤哲宏・田中玲子・西村和子. 2006.6. *Neosartorya*属の新種について. 日本菌学会50周年記念大会. 青葉の森芸術文化ホール, 千葉市.

矢口貴志・堀江義一・伊藤純子・松澤哲宏・田中玲子・西村和子. 2006.6. *Aspergillus* section *Fumigati*の分類について. 日本菌学会50周年記念大会. 青葉の森芸術文化ホール, 千葉市.

松澤哲宏・矢口貴志・堀江義一・西村和子. 2006.6. *Emericella*属の分子系統解析と子のう胞子の形態について. 日本菌学会50周年記念大会. 青葉の森芸術文化ホール, 千葉市.

Yaguchi, T., Y. Horie, R. Tanaka, T. Matsuzawa, J. Ito and K. Nishimura. 2006.8. Classification of pathogenic *Aspergillus* section *Fumigati*, IMC-8. Australia.

矢口貴志・伊藤純子・堀江義一・田中玲子・松澤哲宏・西村和子. 2006.10. *Aspergillus* section *Fumigati*の分類と性状. 第50回日本医真菌学会総会. セルリアンタワー東急ホテル, 東京.

矢口貴志・堀江義一・松澤哲宏・田中玲子. 2006.10. 遺伝子解析による*Neosartorya*属および*Aspergillus* section *Fumigati*の分類と種の評価および新分類. 第50回日本医真菌学会総会. セルリアンタワー東急ホテル, 東京.

松澤哲宏・矢口貴志・堀江義一・西村和子. 2006.10. *Emericella*属の分子系統解析と子のう胞子の形態について. 第50回日本医真菌学会総会. セルリアンタワー東急ホテル, 東京.

Yaguchi, T., R. Tanaka, M. Matsuzawa and Y. Horie. 2007. 2. Polyphasic classification on *Aspergillus* section *Fumigati*. 24th annual conference the Microscopy society of Thailand, The Golden Jubilee Building, Kasetsart Univ., Bangkok, Thailand.

### 川瀬裕司

川瀬裕司. 2007.2. 博物館における動画資料の保管と活用・現状と課題. 第18回魚類生態研究会. 水産大学校小野臨湖実験実習場, 宇部市.